

菅生地域農業関係者の皆さん

～令和5年10月20日(金)訪問～ 【竹田市】



竹田市は、本県の農業生産額の約2割を産出する県内でも有数の農業地帯であり、中でも野菜と畜産が主な品目となっています。特に、菅生地域では、露地野菜の栽培が盛んで、その冷涼な気候を生かし、キャベツ、スイートコーン、白菜、レタス、大根など様々な野菜が栽培されています。

懇談では、県営事業で整備された大規模な圃場を前に、菅生地域の農業関係者の皆さんからお話をお伺いしました。

高齢化が進む菅生地域の農業の現状をお聞きするとともに、今後の地域農業を担う若手農業者を増やすための方策として販路拡大や農産物のPRの必要性、企業誘致への期待等についてお伺いしました。また、最近見られるようになった猿など鳥獣被害の対策や昨今の燃料・資材の高騰の影響など、様々な課題についてご意見、ご提言をいただきました。

現在、建設が進められている中九州自動車道が完成した際には、竹田市は熊本と大分を繋ぐ重要な拠点となる位置にあり、今後の発展が期待されること、県として鳥獣被害対策や燃料高騰、企業誘致などの様々な課題に対して取組をすすめるとともに、若い方々に就農していただけるよう、竹田市としっかりと協力していきたいとお伝えしました。

対

話

風

景



関連する県の施策

☆事業名：農業次世代人材投資事業

事業概要：就業意欲の喚起と就業後の定着等を図るため、就農者に対し給付金を支給

・就業準備資金（国）150万円/年、最長2年間

・親元就業給付金（準備型）（県）150万円/年1年間など

【新】就業準備資金等を受給する子育て期間中の研修者に対し、給付金を上乗せ支給

・支給額 2.5万円/月

※林業（しいたけ含む）、水産業の研修者にも別事業で給付金を支給

予算額：7億9,389万円

☆事業名：The・おおいたブランド流通販売戦略推進事業

事業概要：県産農林水産物の販売を促進するため、マーケットニーズに対応した販路開拓に取り組む

【特】大阪・関西万博開催を見据えた県産品商談会の開催などおおいたブランド推進

予算額：2,455万円

※【新】は令和6年度からの新規事業 【特】は本県の課題を解決し、新しい大分県の創造に挑戦する「新おおいた創造挑戦事業」